



TITLE:

平成13年度第1回京都大学附属図書館講演会の報告（共催 近畿地区
国公立大学図書館協議会）

AUTHOR(S):

CITATION:

平成13年度第1回京都大学附属図書館講演会の報告（共催 近畿地区
国公立大学図書館協議会）. 静脩 2001, 38(3): 17-17

ISSUE DATE:

2001-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37643>

RIGHT:

平成13年度第1回 京都大学附属図書館講演会の報告 (共催 近畿地区国公立大学図書館協議会)

平成13年9月21日(金)1時半から4時半まで、附属図書館A Vホ-ルで標題の講演会が開催された。

テ-マは「古文献資料解題」である。講師、演題、内容は次のとおりであった。

礪波 護(京都大学名誉教授)

宮崎市定コレクション「西洋刊の地理書と古地図」

昨年附属図書館に寄贈いただいた宮崎市定氏旧蔵地理書および古地図に関して講演された。この「宮崎氏滞欧採蒐書印」と刻された“西洋刊「中国地誌と古地図」の解題”“宮崎氏の資料蒐集と研究姿勢”“宮崎氏の人となり”について含蓄の深い話をされ、また、地誌資料を通して“資料と図書館の関係”“図書館職員への期待”などにも講演内容は及び、示唆に富む内容であった。

森 洋久(国際日本文化研究センタ- 助教授)

歴史地理情報基盤の構築について

江戸時代から現代にいたる京都の地図をデジタル化したものを、コンピュータを駆使しながら説明され、古い地図の地名検索や新旧の地図を重ね合わせたりしながら、地図の新しい見方についての研究を報告された。

参加者は94名、14機関(国立大学6, 公立大学4, 私立大学2, その他2)からの参加であり、学生・院生・教官・図書館員・研究者など多岐にわたっており盛会であった。

この講演内容に関連しての御寄稿を、おふたりの先生から「静脩」にいただくことになっているので、ご期待ください。